

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)
施策名 良好な景観の形成

施策コード 5010102

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 都市計画課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり (活力・賑わい)	節 第1節 観光
	施策	良好な景観の形成	

基本方針
・ 市民と行政が協働して、良好な自然環境の保全とともに、世界に開かれた玄関都市にふさわしい魅力ある都市景観の形成に努めます。

現況と課題
・ 泉佐野市都市景観条例に基づく届出制度及び大阪府屋外広告物条例に基づく申請制度を活用し、良好な都市景観の実現をめざしています。
・ 市民一人ひとりの景観に対する意識の醸成に努める必要があります。

施策目標
対象 (誰を、何を、どこを)
市民

意図 (どのような状態にしたいのか)
都市景観をともに守り、育て、創り出していくことにより、地域の特性を活かし、個性を育み、誇りと愛着を感じるまちづくりを進めます。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度 (偏差値)	47.4						
重要度 (偏差値)	54.8						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R4決算	R5決算					
コストの内訳	人件費	千円	17,622	18,090				
	事業費		5,985	10,706				
	フルコスト		23,607	28,796				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		1,694	1,591				
	市債		0	0				
	その他		1,760	1,529				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		20,153	25,676				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		2,531	7,586				

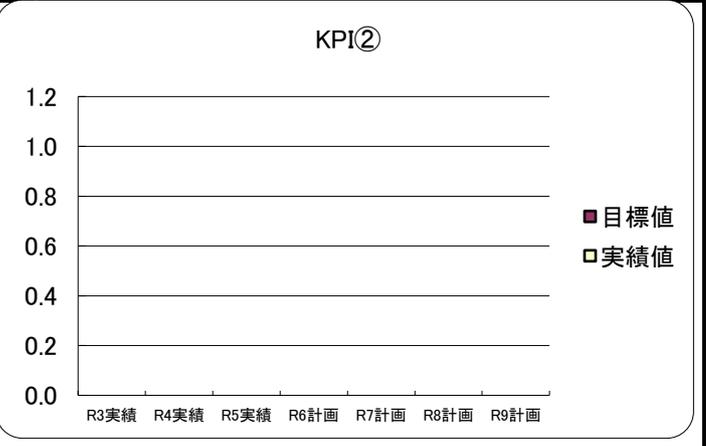
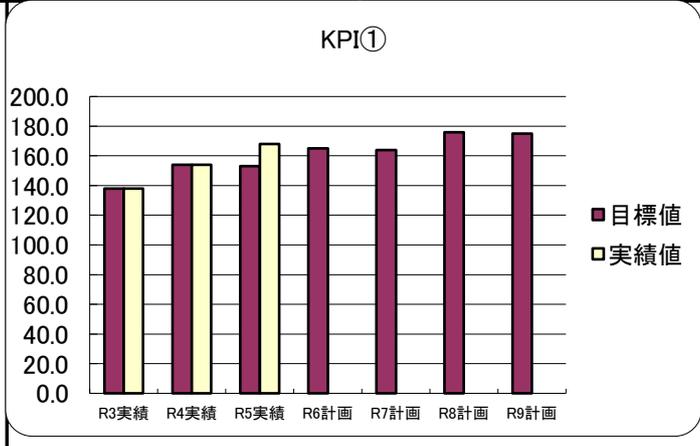
5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 屋外広告物許可の申請件数							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	138.0	154.0	153.0	165.0	164.0	176.0	175.0
実績値	138.0	154.0	168.0				
達成度	100.0	100.0	109.8				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
都市の景観に大きな影響を与える屋外広告物許可の申請件数		よりよい都市景観を作り調和のとれた魅力的な街を形成するために、これらに対して屋外広告物条例に基づき許可制度を設けており、毎年150件前後の申請受理をし、必要に応じて許可を行うものである。		毎年150件前後の届出があるが、同程度の件数で推移していくことで、良好な景観の形成につながるものとする。			

② KPI 2							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

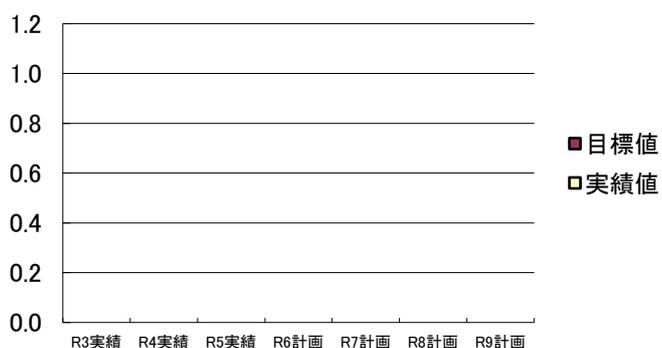
④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

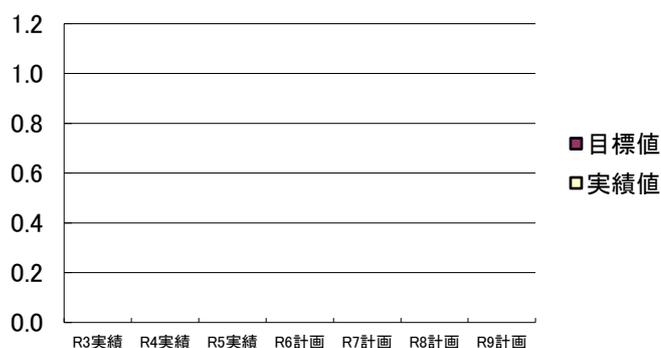


図表

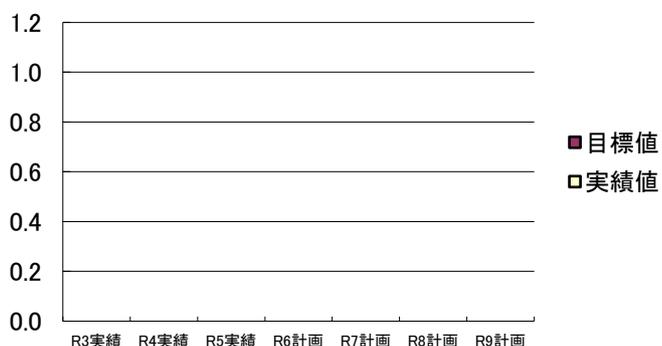
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	全国に先駆け平成9年に制定された「泉佐野市都市景観条例(自主条例)」により、良好な都市景観の形成に資する為、屋外広告物については、許可申請の目標値は概ね達成されている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	毎年150件前後の届出で推移。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	平成17年6月の景観法の全面施行を受け、大阪府においても「大阪府景観計画」が策定される。市町村においても、地域特性に応じた景観計画策定などの施策を講ずることが重要とされている。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	自主条例に基づく取組のほか、平成25年2月に景観法に基づく景観行政団体となり、同年3月に「泉佐野市日根荘の里大木地区景観計画」を定めるなど、積極的に景観施策を展開しているが、平成30年市民アンケート調査では市民の景観への満足度・重要度が低下しており、市民へ景観施策の認知度を高める必要がある。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		B	H30とR5市民アンケートの比較では重要度36.5→54.8満足度45.9→47.4と市民の景観への認識が向上していると判断される。引き続き、良好な景観の形成に努めること。
三次評価(理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		B	

7. 施策を構成する事務事業

	事務事業	R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
		人件費	事業費	一般財源		
1	01040400 都市計画関連業務事業	18,090	10,706	7,586	0	B
合計		18,090	10,706	7,586	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	060602010	予算コード	01040400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	都市計画関連業務事業			正規職員数 1.9	国庫支出金 0	有効性	A	令和3年度は、公園の変更、地区計画の決定・変更、市街化調整区域の地区計画決定、生産緑地の変更等を実施。令和4年度は生産緑地の変更、地区計画の決定、用途地域・風致地区等の変更を実施。令和5年度は生産緑地の変更、下水道の変更、用途地域・地区計画、公園等を変更している。	
担当課	都市計画課		嘱託職員数 0.7	府支出金 1,591	効率性	A			
根拠法令等	法定受託事務		臨時職員数 0	市債 0	妥当性	A			
	■法律・政令・省令		歳出(千円)	その他 1,529	受益者負担	A			
	都市計画法・生産緑地法・泉佐野市都市景観条例等		人件費総額 18,090	一般財源 25,676					
				減価償却費 0					
				事業費 10,706					
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 28,796	緊急性		C	事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円) 291				<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画案件の決定及び変更 ・生産緑地地区買取申し出受付 ・特定生産緑地の指定受付 ・都市景観条例に基づく届出受付 ・土地売買等届出受付事務 ・屋外広告物の許可等に関する事務 	
対象	不特定の市民	対象数		活動指標	R5実績	公的関与	A		
				都市計画決定・変更件数	6.0	実施主体・委託化	B		
				都市計画の届出・証明件数	158.0	他の事務事業との関連	A		
事業の内容						透明性	B		
①都市計画案件の決定及び変更						財政健全化計画	該当なし		
②都市計画法等の届出に対する許可や証明事務						財政健全化の取組	該当なし		
				成果指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				都市計画決定・変更件数	6.0				
				都市計画の届出・証明件数	158.0				
事業の目的	①都市計画の決定や変更により、良好な都市環境を形成する。 ②都市計画法及び都市景観条例に基づく届出の受理や証明により、まちづくりの誘導を図る。			都市計画決定・変更処理1件当たりの経費	2,260,556.0				
				都市計画届出・証明処理1件当たりの経費	96,409.0				